書家

藤原　ひさ子（花心）

Hisako Fujiwara

　書と表装とが互いに相和すことで、書は完結するというのが私の理想とするところ。自ら古い着物や帯に合う書を書いたり、書に合う裂地を選び表装する過程が楽しい。

かなー　西谷卯木
漢字ー　大渓洗耳　に師事